

昨年11月のこの欄で、支笏湖温泉の新たな泉源掘削工事が始まったことを書きましたが、毎日ピジターセンターの窓から掘削用のやぐらを見てみると、温泉掘削とはどのようなに行われるものなのか、今はどのくらいまで掘り進んでいるのかなど、いろいろ知りたくなり、責任者の方をお願いして現場を見学させていただきました。

そもそも温泉とは、温泉法という法律によって、25度以上の温度、または水素イオン等18種類の物質のうち、いずれか一つを有するものと定められています。

支笏湖温泉の泉源は、現在掘削工事が行われている場所から直線距離で約350メートル北の山の中腹にあり1974年に湧出したもので、泉質は「ナ

トリウム―炭酸水素塩泉」といい、炭酸水素イオンとナトリウムイオンを多く含んでいて無味無臭ですが、入ってみるとすべすべした感触が気持ちいい温泉です。

不要な角質や毛穴の汚れを取り、美白肌を作ってくれる効果があることから「美肌の湯」とも言われています。しかし掘削から38年が経過し、湧出量の低下から新たな泉源が必要となったわけ

## 温泉掘削の現場を見学

### 硬くて剥がれやすい岩に苦労

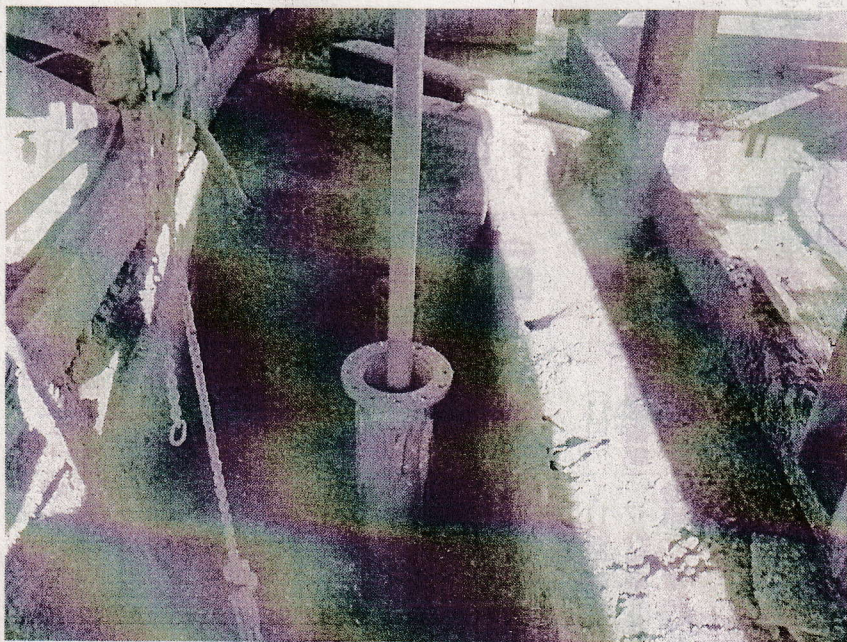
す。

さて、掘削現場では6人のスタッフが24時間体制で作業に従事しており、太さの異なる3種類のパイプを太い順に回転と荷重を加えながら地下1100メートルまで打ち込む計画で、現在は9日朝の時点で、地下384メートルで達しているそうです。この地層は頁岩（けつがん）という板状に薄く

た。

新たな温泉がどのようなものなのかは、出てみなければ分からないというのが正確なところだそうですが、3月上旬には、泉質や温度、湯量などが分かる予定です。その後、配管工事などを経て各ホテルに供給さ

掘削中の口元。ここから地下1100メートルまで掘っていく



れることになるので、実際に新しい温泉に入浴できるのはまだ先になりますが、その時を楽しみに

部、木下宏

